

令和7年度第10回庁議議事録

概要

1. 開催日時

令和7年12月18日（木） 午前10時00分～午前10時40分

2. 開催場所

市役所 5階 市長公室

3. 出席者

市長、両副市長、教育長、総務部長、企画部長、財務部長、市民経済部長、福祉部長、健康子ども部長、環境部長、都市政策部長、都市整備部長、消防長、教育総務部長、生涯学習部長、企画部次長

(幹事)

企画政策課長、秘書課長

(説明補助員)

総務部次長、総務課長、市民参加推進課長、高齢者包括支援課長、都市計画課長

4. 議題等

- 1) 第3次浦安市行政運営刷新計画（素案）について（議題）
- 2) 第4期浦安市市民参加推進計画（素案）について（議題）
- 3) （仮称）浦安市認知症施策推進基本計画（素案）について（議題）
- 4) 浦安市用途地域等指定方針及び指定基準の策定について（報告事項）

5. 議事の概要

- 1) 第3次浦安市行政運営刷新計画（素案）について（議題）
 - ・第3次浦安市行政運営刷新計画（素案）について説明があった。
- 2) 第4期浦安市市民参加推進計画（素案）について（議題）
 - ・第4期浦安市市民参加推進計画（素案）について説明があった。
- 3) （仮称）浦安市認知症施策推進基本計画（素案）について（議題）

- ・（仮称）浦安市認知症施策推進基本計画（素案）について説明があった。
- 4）浦安市用途地域等指定方針及び指定基準の策定について（報告事項）
- ・浦安市用途地域等指定方針及び指定基準の策定について報告があった。

6. 会議経過

1）第3次浦安市行政運営刷新計画（素案）について（議題）

総務部長より、計画の概要や目標と体系、取り組みの基本姿勢などについて説明があった。

《質問・意見》

市民経済部長： 書かない・行かない市役所に関する取り組みのひとつとして、コンビニ交付を行っているが、窓口での申請書の記載方法などについて検討していく必要がある。

福祉部長： 電子化は、高齢者などが取り残される懸念があるが、どのように考えているのか。

総務部長： 既存の受付方法を廃止するのではなく、電子化により多様な選択肢を用意するという考えである。

健康子ども部長： 庁内において、同様な状況にある手続き等について、多様な選択肢を用意するという観点から検証していく必要がある。

木村副市長： 個々の取り組みだけではなく、市が目指す全体像を示していく必要がある。

財務部長： 市の財務状況については、最新の状況が出ていることから、更新する必要がある。

野崎副市長： 将来的に人口減少が見込まれる中、行政刷新の観点から、DXを推進していく必要があると考える。費用対効果などもしっかりと検証すること。

市長： 市の財務状況を最新のものに更新すること。
また、政策判断が必要となるものについて、課題点などを整理すること。

2）第4期浦安市市民参加推進計画（素案）について（議題）

市民経済部長より、計画の策定の目的や背景、計画の全体像などについて説明があった。

《質問・意見》

都市整備部長： 境川かわまちづくりなど、多様な主体が連携し、課題解決に取り組む姿勢が重要だと考えている。

福祉部長： 市民、まちづくり活動団体、市が連携・協力・補完することについて、より一層意識していく。

教育長： アートプロジェクトやコミュニティスクールにおいても、多様な主体との連携を大切にしていきたい。

市長： 限られた行政資源ですべてのニーズに対応することは困難な状況となっている。多様な主体と連携・補完し合いながら、課題解決に向け取り組んでいくこと。

3) (仮称) 浦安市認知症施策推進基本計画(素案)について(議題)

福祉部長より、計画策定の背景や理念、基本方針などについて説明があった。

《質問・意見》

木村副市長： 基本理念を端的な表現にすること。

環境部長： ごみを自らの力で排出することが困難な、ひとり暮らしの高齢の方などを対象に、ごみの戸別収集を行っている。認知症のある方の場合、戸別収集の依頼自体が難しいケースがあることが、課題となっている。

都市政策部長： 市営住宅においても、戸別収集の依頼自体が難しく、ごみの排出について課題となっている事例がある。

消防長： 救急現場においては、マイナ保険証により、過去の受診歴などを確認することで、迅速な救急活動につながっている。

市長： 認知症のある方への対応について、避難所運営など、災害時を含めて検討すること。

4) 浦安市用途地域等指定方針及び指定基準の策定について(報告事項)

都市政策部長より、浦安市用途地域等指定方針及び指定基準の策定について、概要や縦覧結果を踏まえた変更点などについて報告があった。

《質問・意見》

市長： 引き続き、策定に向けて適切に進めること。